

平成29年度卓話集会におけるディスカッションの概要

No.	地区名	質問・要望・提案	回答
1	西小磯西	健康寿命の延伸に係る施策については、町民の健康状態の経年変化の把握や県内データとの比較などを行い、PDCAマネジメントサイクルに基づいた目標に対する達成度の評価を行う必要があると考える。	おあしす24健康おいぞを中心とした健康寿命の延伸に係る施策の効果が表れるまでには時間が必要であり、まだ検証のできる段階ではないが、データが集約された際には費用対効果等の検証を行う予定である。幅広い年齢層の方に繰り返し参加していただいている状況から事業の必要性が大いにあると考えている。
2	西小磯西	後期高齢者になった妻は、おあしす24健康おいぞに参加することを楽しみにしている。近所の方も誘うが腰が重い方が多いという。保健師は説明力もありイベント対応が上手である。	以前、保健師は各課に分かれて配属されていた。現在はスポーツ健康課に所属し、各々協力しながら事業を実施している。おあしす24健康おいぞ事業は、神奈川県モデル事業として認定され、WHOも注目する取組みとなっている。事業に参加することは認知症予防にもつながるので、ぜひ地域の方も一緒に気軽に参加していただきたい。
3	西小磯西	中学校給食が問題になったが、山梨県北杜市では、幼児期から自分で育てた作物を給食で食するなど食育に力を入れているので、取組みを参考にしたい。	中学校給食問題については、危機管理の欠如であったと反省をしている。校内に給食室を新設する自校式、両行一括して調理するセンター方式など中学校給食の実現に向けて、しっかりと検討していきたいと考えている。